



第14号

平成24年12月20日

発行

鹿児島大学教育学部同窓会

〒890-0065 鹿児島市郡元1-20-6 電話099-285-7718

編集・印刷

（株）南日本新聞開発センター

# 第15回総会開かれる

## 学年同窓会の充実を

平成24年第15回鹿児島大学教育学部同窓会が8月5日、ジェイドガーデンパレス（旧翠園閣）において開催された。島田俊秀顧問・武隈晃教育学部部長・松元兼俊名譽会長の臨席の下、北原稔幹事の進行で進められた。亡師・亡友の御霊に黙祷を捧げたあと、池之迫静男会長はあいさつの中で、同窓会設立15周年を迎え感慨無量である。これから教育学部同窓会は何をすればいいのか、会の運営は形骸化し

ていないだろうか。諸活動の推進状況はこのままでいいのか。会の目標達成の状況を見ながら反省しているところである。各学年の同窓会の充実等横の絆作りによりのように取り組めばよいのか。先般開催された美術同好会による美術展を観覧する機会があり、何かヒントを与えられたように思うことであつた、と述べた。松元兼俊名譽会長は、50年余りにわたって教育学部の卒業生が出ている。今後何かに



職も10倍超の試験を乗り切るために就職スタッフの拡充を計り、50パーセントの合格率に近づいている。24年度は国立大学の改革の転換期であることを十分に自覚し、努力している。最後に、鹿児島大学の教育を語る会・国際交流基金・大学祭等への支援に対してお礼を申し上げたいと話した。石神正明副会長の会務報告の後、福島嘉久理事の司会で協議に入った。平成23年度決算報告・事業報告・24年度事

業計画・予算案も原案どおりに可決された。その後「国際交流活動の助成に関する申し合わせ」の一部を改正し、学生の交流助成に関する支援を明確にした。また、特に教育学部今林俊一教授の「同窓会にかける夢・姿」と題しての提言、理科専修4年生の町田康佑さんの提言があり、少ない時間で

はあつたが有意義な内容で今後の運営に向けての示唆を与えていただいた。懇親会については、師範・教育学部合同の同窓会を引き継ぎ、毎年実施することに

なつた。懇親会の運営は、これまでの経緯を踏まえ、昭和46年卒業の皆さんにお願いすることになった。進行役は、重久三三氏。開会のあいさつでは川口公男氏が、新しいビジョンで未来永却につなげる運営を心掛けた。新しい歴史の始まりでありお互いに英気を養いたいと話した。また、池之迫静男会長は、15周年は青年期である。教育学部らしい同窓会、学校や地域社会に貢献する同窓会を目指したい。そのためには、学年

同窓会の充実を推進し、生きていくことに寄り添う同窓会作りを努めたいと話した。来賓あいさつでは、吉田浩己鹿児島大学学長、杉元羊一教育次長の祝辞を頂き、江口正純鹿児島大学同窓会連合会会長の乾杯の後「北辰斜めに」を全員が高らかに歌い、開宴となった。

15周年の記念ともなる同窓会懇親会は100名が参加し、47年卒業の、世話係代表堂園範子氏の万歳三唱、文城テツ子副会長の開会のあいさつで、幕を閉じた。



## 開会のあいさつ 鹿大教育学部同窓会長 池之迫 静男

おはようございます。会長の池之迫です。総会の開会に当たり一言、ごあいさつを申し上げます。今年もまた、真夏のこの時に総会を開催致しましたところ、顧問の先生方をはじめ、多くの会員の皆さまがご出席くださいましたこと

となったことは、誠に喜ばしいことでもあります。ここに同窓会が創立15周年を迎えたことは、人間の成長に例えれば青年期に当たり、自由闊達な活動ができ飛躍する時であります。会員の皆さまとともに、い

「アイデアは『愛』と『理想』、アイデアを出し合うこと、同窓会が活性化され、夢と希望が生まれるのではないでしようか。去る6月30日、私は鹿児島市立美術館の第7回鹿児島大学教育学部美術科同窓展を見学して、作品の素晴らしさに

感激しました。70名の卒業生の方々と8名の在学生在が多数出展されていました。これに対して、教育学部同窓会にこれまで何も支援していないことを悔やみました。この展覽会を見学して、今後は美術展、書道展・音楽会などを同時に開く一大イベントを実施し、

同窓会員が結集することによって、鹿児島県の教育文化の進展に寄与することになるのではないかと思います。アイデアは未来を開く、また、

平成24年8月5日

とに、心から感謝申し上げます。同窓会は15周年を迎えることになりました。今年、これまで24年間続いた鹿児島師範・教育学部同窓会が解散されましたので、長年の懸案が解決されました。鹿児島大学教育学部同窓会の名称が一つ

かにも教育学部同窓会らしい活動を盛り上げていきたいものであります。教育学部同窓会は、よく知的集団であるといわれています。知性と品格の溢れる同窓会に創り上げたものであります。そのためには同窓会は、ボランティアな組織でありますから自由な

発想、アイデアを出し合うこと、同窓会が活性化され、夢と希望が生まれるのではないでしようか。去る6月30日、私は鹿児島市立美術館の第7回鹿児島大学教育学部美術科同窓展を見学して、作品の素晴らしさに

感激しました。70名の卒業生の方々と8名の在学生在が多数出展されていました。これに対して、教育学部同窓会にこれまで何も支援していないことを悔やみました。この展覽会を見学して、今後は美術展、書道展・音楽会などを同時に開く一大イベントを実施し、

同窓会員が結集することによって、鹿児島県の教育文化の進展に寄与することになるのではないかと思います。アイデアは未来を開く、また、

平成24年8月5日

### 平成23年度特別会計決算 (単位:円)

(記念事業積立金)

| 1.収入の部 |            |            |     |
|--------|------------|------------|-----|
| 区分     | 予算額        | 決算額        | 増減額 |
| 前年度繰越  | 12,500,000 | 12,500,000 | 0   |
| 合計     | 12,500,000 | 12,500,000 | 0   |

| 2.支出の部  |            |            |             |
|---------|------------|------------|-------------|
| 区分      | 予算額        | 決算額        | 増減額         |
| 記念事業積立金 | 12,500,000 | 0          | △12,500,000 |
| 合計      | 12,500,000 | 0          | △12,500,000 |
| 次年度繰越額  |            | 12,500,000 |             |

(大会開催準備基金)

| 1.収入の部 |           |           |     |
|--------|-----------|-----------|-----|
| 区分     | 予算額       | 決算額       | 増減額 |
| 前年度繰越  | 1,053,146 | 1,053,146 | 0   |
| 合計     | 1,053,146 | 1,053,146 | 0   |

| 2.支出の部   |           |           |            |
|----------|-----------|-----------|------------|
| 区分       | 予算額       | 決算額       | 増減額        |
| 大会開催準備基金 | 1,053,146 | 0         | △1,053,146 |
| 合計       | 1,053,146 | 0         | △1,053,146 |
| 次年度繰越額   |           | 1,053,146 |            |

(国際交流基金)

| 1.収入の部      |         |         |     |
|-------------|---------|---------|-----|
| 区分          | 予算額     | 決算額     | 増減額 |
| 前年度繰越       | 361,418 | 361,418 | 0   |
| 一般会計からの組み替え | 138,582 | 138,582 | 0   |
| 合計          | 500,000 | 500,000 | 0   |

| 1.支出の部   |         |         |         |
|--|---------|---------|---------|
| 区分   | 予算額     | 決算額     | 増減額     |
| ドイツのボン大学への留学生派遣補助、西ジョージア大学研修者受け入れに対する補助、ICA集団研修に伴う経費補助 他 | 500,000 | 446,583 | △53,417 |
| 合計   | 500,000 | 446,583 | △53,417 |
| 次年度繰越額   |         | 53,417  |         |

### 平成23年度一般会計決算 (単位:円)

1.収入の部

| 区分    | 予算額       | 決算額       | 増減額        | 備考                                      |
|-------|-----------|-----------|------------|---|
| 前年度繰越 | 938,419   | 938,419   | 0          |   |
| 会費    | 4,150,000 | 2,070,000 | △2,080,000 | 新入生 1,960,000円<br>卒業生 円<br>既卒者 110,000円 |
| 雑収入   | 1,700     | 789       | △911       | 預金利息                                    |
| 合計    | 5,090,119 | 3,009,208 | △2,080,911 |   |

2.支出の部

| 区分     | 予算額       | 決算額       | 増減額        | 備考   |
|--------|-----------|-----------|------------|--|
| 事業経費   | 550,000   | 1,004,202 | 454,202    | 備品、賃金、通信費、不動産貸付料、文具等                                 |
| 会議費    | 400,000   | 255,595   | △144,405   | 総会、理事会、役員会、専門部会等                                     |
| 事業費    | 1,740,000 | 962,743   | △777,257   | 会報作成費及び発送費、鹿児島県の教育を語る会支部、学年、教科同窓会補助、大学祭学部企画補助、連合会分担金 |
| 会計区分変更 | 138,582   | 138,582   | 0          | 特別会計へ移し替え<br>国際交流基金                                  |
| 予備費    | 2,261,537 | 0         | △2,261,537 |  |
| 合計     | 5,090,119 | 2,361,122 | △2,728,997 |  |
| 次年度繰越額 |           | 648,086   |            |  |

# 提言

## 『同窓会にかける夢・姿』

### 鹿大教育学部教授

#### 今林 俊一



始めに

「学校で間違っていることは？」  
……に入る内容はいろいろ  
なものがあると考えられます。その  
内容によって、間違ったこと  
への対応(接し方)が変わり  
ます。

ちなみに私の場合は、「当然  
(当たり前)」と入れたいので  
すが。

「黒い目のきれいな女の子」  
とはどんな子でしょうか？

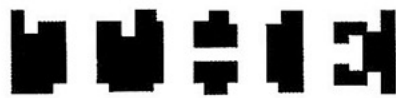
同窓会のこの席に参加して  
いる全ての方々のことを言っ  
ています。  
どのように読むとそうなる

「学校で間違っていることは？」  
……に入る内容はいろいろ  
なものがあると考えられます。その  
内容によって、間違ったこと  
への対応(接し方)が変わり  
ます。

「これは何の絵か  
分かりますか？」  
↑ ↓



↑ ↓これは何の絵か  
分かりますか？



### 理科専修4年

#### 町田 康佑

私が初めて同窓会の行事に  
参加させていただいたのは、  
昨年11月に行われた「鹿児島  
の教育を語る会」でした。そ  
こでは各専修ごとに同窓会の  
先輩方、教授の先生方、学生  
が混ざって、提言や意見交換  
が行われました。私は数学・  
理科専修のグループに参加さ  
せていただきました。グルー  
プ討論では、まず学生に「人  
として大切なこと」という  
テーマの下、発表の場を与え  
られ、その後グループ全体で  
質疑・応答、討論が行われま  
した。同窓会の先輩方は、実  
際に小・中学校や大学、各種  
教育現場に立たれてきた方が  
多く、また社会経験も豊富で、  
そのような立場から、専門的  
な意見やアドバイスをいただ

くことができ、今後にかかす  
ことができる多くの事を得る  
ことができました。また、3  
年生の11月という進路につ  
いて決定しなければならぬ時  
期に、多くの同窓会の先輩方  
とお話させていただくこと  
によって、進路決定の参考にな  
る話もたくさん伺うことがで  
きました。

上下のつながりもあり、社交  
礼儀はもちろんのこと、強い  
絆やコミュニケーション能力  
など多くの事を得ることがで  
きました。このように、上下  
のつながりということがとて  
も大切になってくると思いま  
す。教育学部全体にもこのよ  
うな上下のつながりが重要  
で、それに値する組織が同窓  
会になるのではないかと思  
います。

も、学生が快適に学生生活を  
送るためには行事、進路の面  
で同窓会の皆さまの支援は  
なくてはならないものと思  
います。  
以上のように、学生が快適  
な学生生活を送り、また社会  
に出ていった際に教員や社会  
人として必要な能力や自覚を  
身に付ける一つの手段とし  
て、同窓会の先輩方との交流・  
支援はなくてはならないもの  
だと思えます。今後とも、同  
窓会の先輩方には学生との交  
流・意見交換の場を今まで以  
上に増やしていただき、教育  
学部全体のつながりを強め、  
また人生や教職の道に進んだ  
先輩として後輩へのアドバイ  
スや指導をよろしく願います  
と、今後ともご支援をよろし  
くお願い致します。

また、今回同窓会の提言・懇  
親会に参加させていただくに  
当たり、同窓会の活動につ  
いていろいろ伺いましたが、  
大学祭や教員採用試験対策模  
試等に多大なる支援をいた  
だけている事も初めて知るこ  
とができました。私も去年、大  
学祭の実行委員になり、大学  
祭の運営に関わり、無事成功  
を収めることができ達成感に  
溢れていましたが、裏では同  
窓会の支援があったことは全  
く知りませんでした。今後と

W W h a t .. 同窓会をこれか  
らどうする?)  
提言3 交流をコーディネート  
する  
(異年齢・異業種・異文化体験  
の方々との接続をスムーズに  
する)  
外国の方、異性、子供、高  
齢者、障害者、大人などとの  
ネットワークを再構築再活用  
するためにも、他者との対話  
を通して自己を見つめ直す機  
会になります。

終わりに  
過去を捨てることは未来を  
捨てること(過去をくぐって、  
未来を照らし、今を考える)  
ある出来事に対する意味付け  
は、時間や空間を超えるもの  
です。意味ある変化にするた  
めには、私たちが支える周囲  
の他者や状況の在り方が影響  
します。  
当事者の視点を大切にしつ  
つ語り直すことで、自分の行  
為の相対化が進みます。

## ▼平成24年度教育学部同窓会予算(単位:円)▼

### 2. 特別会計

| (1) 記念事業積立金   |            |            |                         |
|---------------|------------|------------|-------------------------|
| (収入の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 前年度繰越         | 12,500,000 | 12,500,000 |                         |
| 合計            | 12,500,000 | 12,500,000 |                         |
| (支出の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 記念事業積立金       | 0          | 12,500,000 |                         |
| 合計            | 0          | 12,500,000 |                         |
| (2) 大会開催等準備基金 |            |            |                         |
| (収入の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 前年度繰越         | 1,053,146  | 1,053,146  | 鹿児島師範・教育学部同窓会           |
| 寄付            | 2,088,125  | 2,088,125  |                         |
| 合計            | 3,141,271  | 3,141,271  |                         |
| (支出の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 大会開催準備基金      | 0          | 3,141,271  |                         |
| 計             | 0          | 3,141,271  |                         |
| (3) 国際交流基金    |            |            |                         |
| (収入の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 前年度繰越         | 361,418    | 53,417     | 平成23年度支出済額を一般会計から組み替え充当 |
| 新規積立          | 238,582    | 446,583    |                         |
| 合計            | 500,000    | 500,000    |                         |
| (支出の部)        |            |            |                         |
| 区分            | 平成23年度決算額  | 予算額        | 備考                      |
| 国際交流基金        | 446,583    | 500,000    |                         |
| 計             | 446,583    | 500,000    |                         |

### 1. 一般会計

| (収入の部) |           |           |  |
|--------|-----------|-----------|--|
| 区分     | 平成23年度決算額 | 予算額       | 備考   |
| 前年度繰越  | 938,419   | 640,086   | 会費内訳<br>24年度新入生<br>23年度卒業生(納入見込)<br>既卒者(見込)  |
| 会費     | 2,070,000 | 2,250,000 |  |
| 雑収入    | 789       | 2,000     |  |
| 合計     | 3,009,208 | 2,900,086 |  |
| (支出の部) |           |           |  |
| 区分     | 平成23年度決算額 | 予算額       | 備考   |
| 事務経費   | 1,004,202 | 824,545   | 備品100千円、賃金250千円、通信費60千円、不動産貸付料35千円、文具等80千円、その他300千円  |
| 会議費    | 255,595   | 500,000   | 総会、理事会、役員会等400千円、専門部会30千円、その他70千円  |
| 事業費    | 962,743   | 890,000   | 会報作成費250千円、会報送料230千円、鹿児島教育を語る会200千円<br>支部、学年教科同窓会補助20千円、大学祭補助60千円<br>連合会分担金および会議費110千円、その他20千円 |
| 会計区分変更 | 138,582   | 446,583   | 特別会計(国際交流基金)へ組み替え<br>※昨年度支出額充当   |
| 予備費    | 0         | 238,958   |  |
| 計      | 2,361,122 | 2,900,086 |  |

# 鹿児島島の教育を語る会

## 講演 言葉のチカラ



講師 宮原恵津子  
フリーアナウンサー、ラジオパーソナリティー、キャリアアカウンセラー、司会、ナレーション等でも活躍。  
MBCラジオ「えつちゃんのとんぼ倶楽部」

「つくれない」そういう子だったんです。

ある国語の時間に、「明日『心に太陽をもて』という詩を朗読します。録音するからしっかり練習してください。」と、先生がおっしゃいました。なぜか、その時、私は「これがチャンスになる！」って、神様から言われたような気がしました。その日家に帰ると布団をかぶって一生懸命練習しました。

そして、当日、私の番。「心に太陽をもて」最初の一声が出たら、あとはうまく読めました。

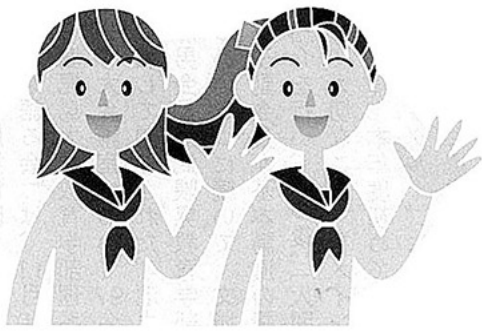
すると、先生は私に近づき抱きかかえて、「できるっちゃ、できるっちゃ、できるっちゃ、できるっちゃ」って、3回、皆の前で褒めてくださいました。

その日から私へのいじめはなくなりました。幸いにも私は、これで自分の居場所を見

- 1 できるっちゃー
- 2 そいでまがればそひんこつよ!!
- 3 人間万事塞翁が馬

「できるっちゃー」

どういう時にかげられた言葉かという、私は、実は、小学校の3年生までクラスでいじめられている子でした。声が小さい。「自分に自信がない」「発表できない」「友達を



「そいでまがればそひんこつよ」  
これは娘が小学校1年生の時の担任の先生の言葉です。娘の入学と、私のフリーになって初めての生放送の初日が重なってしまった時、私は先生に相談しました。  
大切な時にそばにいてやれない。ちゃんと面倒が見られない。すると、先生は「お母さん、どういのが教育だと思われませんか？ 目と目を合わせしっかり話を聞いてあ

「人間万事塞翁が馬」  
高校の合格発表前日の息子の中学の卒業式の時の校長先生の言葉です。  
これは、今、起きていることは良いことも、悪いことも今は評価できない。今が幸せであっても、逆にどん底であつても、後で振り返ってみれば、それは分岐点か通過点にすぎないんだということを、おっしゃりたかったんだと思います。  
私はこれらの言葉を下さった先生方へ感謝しながら、これから先生になろうという皆

つけることができず、その時、「私は、こんな風に声を出して何かを読めば認められるんだ」って思ったんです。本当に単純な子供の発想ですが、そこから、アナウンサーへの夢が始まりました。  
子どもは人の前で褒められることも喜びます。面と向かって褒められるのももちろんうれいけれど、先生が君のこと褒めてたよと、第三者から聞くのはもつとうれい。褒められるっていうのはすごいチカラになります。

「夢ややりたいことがないなら、逆にこれだけは嫌だ!!」  
こうはなりたくない!! っていうのを書き出してごらん。次に、これならやれるかもしれない。昔好きだった。褒められたことがある。というものを書いて、それをいろいろ調べて情報収集してごらん。  
そうすることで、漠然としていたものが何かの形になるかもしれないからです。  
私は毎日のラジオ番組の中で1日最低3人の人と話します。会ったことも見たこともない人の話を、限られた時間で引き出さなければなりません。これは、先生にも通じる場所があると思います。コミュニケーションがスムーズにいくための方法の一つが、プロフィールを知ることです。履歴書にはないプロフィール。「君は幼稚園でサッカーをやったんだってね。」「君の名前はおじいさんから一字ももらったんだね」等々。



私がラジオで気を付けていることの一つに、初めてのあいさつを「同じ言葉、同じトーン」で言うということがあります。教室に入られての第一声が日によって違う。「今日は機嫌が悪い?」「今日はめっちゃテンション高くない?」など、感情に波のある先生は頼りにならない。何があっても先生はいつも平常心で自分を迎えてくれる。そんな先生像を演出なさってください。

授業以外の場面でもこういうおしゃべりをする、子どもは自分に興味を持ってくれるんだ!! とうれしく思います。

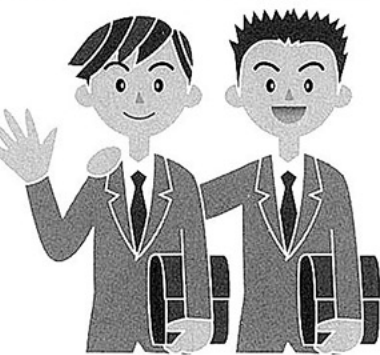
子育ての話をします  
私は「親」として自分と、子どもと同じ年齢だった時の自分と常に2人を頭の中に入れていきます。子どもの隣に同じ年の自分を思い出して並べせるんです。すると、案外、わが子の方がしっかりしていたりするんです。それを忘れて叱ってばかり、教えてばかり、上から押さえ付けてばかりだと、いつしか子どもは、助けて欲しいときに「助けて」と言えなくなってしまうような気がします。  
先生たちにもそうしていただけならいいなあと思えます。生徒の隣に同じ年頃のご自身を置いてみてください。



「先生」という仕事は子どもが未来を変えられる魔法の力があるかもしれない。ただ、進学させるだけでなく人間を作る、人生をつくる仕事と言えるのかもしれない。素晴らしい仕事です。どうぞ、いい仕事をなさってください。

ラジオ「テレフォン人生相談」でおなじみの加藤謙三さんは、相談者の多くは、本気で相談するというより「私は間違っていますよ」「先生は私の味方ですよ」「私は可哀そうでしょうか?」という気持ちで強いと言っています。  
先生方は生徒にアドバイスするべきだという使命感があると思います。でも、少し、待つてやった方がいいこともあると思います。まずは、話を聞いてあげる。もしかしたら、たった一言「大変だったね」の言葉だけが欲しいのかもしれない。言いよんだり、言葉に詰まっても無言の状態をせかしたりしないで待つてあげること大切なのではないかと思えます。そして、必要ならば「何があっても君なら絶対うまくやれる!!」と言い切つてあげてください。

私は小3の担任の先生の「できるっちゃ」の一言で人生が決まりました。母親になつてからも先生の言葉で光をもらいました。  
「先生」という仕事は子どもが未来を変えられる魔法の力があるかもしれない。ただ、進学させるだけでなく人間を作る、人生をつくる仕事と言えるのかもしれない。素晴らしい仕事です。どうぞ、いい仕事をなさってください。



# 第10回「鹿児島の教育を語る会」盛会裡に終わる

# 「人間として大切なこと」

平成23年度第10回「鹿児島の教育を語る会」は、11月30日、鹿児島大学教育学部理系棟2階大会議室において97名が参加して開催された。池之迫静男会長・武隈晃教育学部長のあいさつに続いて、文城テツ子副会長が基本講演の講師紹介を行い、その後、「人間として大切なこと」をメインテーマに、本年度初めての進め方で、8グループに編成し16名の学生に提言をしていただいた。

## 第1グループ会

(東園敬介・宮田真衣)

提言1…ある中学校の運動会を見に行き、とても信じられない光景に出合った。髪は金色に近い茶髪でスウェットにTシャツ、たばこを片手に赤ちゃんを抱き、腕には刺青が入っている。学校は子供を預かって教える教育の場である。社会の一員としてもっと自覚してほしい。

提言2…教育実習で、先生や子供たちからの多くの支えを感じた。先生からの励ましの言葉や授業に懸命に取り組む子供たちの姿勢がとてもうれしく、教師になりたいという思いは強まった。

助言…いろんな体験を自分にとってプラスに考えることができれば良いのではないかと。また、保護者から良くしていただくことに対して、お礼の言葉や感謝の心、周りの目を気にする人と関わっていくことは大切なことだと思ふ。

## 第2グループ会

(小林宣博・町田康佑)

提言1…人の前に立つという経験を通して、二つの事に気が付きました。一つは、責任感

です。いろいろな試行錯誤を繰り返す中で、自分のためな部分に気付くだけでなく、それを改善していくことができた。

二つ目は、チャレンジ精神です。友達に誘われ、ボランティアサークルを作り、その目標を達成することによりコミュニケーション能力などさまざまな力の向上につながりました。

提言2…小・中・高と吹奏楽部で活動し、その事が現在の自分の形成に大きく関わっていることを確信しています。一つは「自分自身や自分の行動に自信と責任を持つ。二つ目は、吹奏楽も日常生活も自分一人ではなく、周りの人のサポートや人々との協調・協力によって成り立つということ

です。

助言…部活動のメリットや他集団との交流等を通して魅力ある教師像を求め、生命・生きることに素晴らしさを大事にしてほしい。

## 第3グループ会

(山元啓成・上村慧悟)

提言1…人間として大切なことの一つは、目標を持ち趣味を大切にすることです。高校でクラリネットを、大学では声楽をしています。吹奏楽部に入り、九州大会で金賞を受賞することができました。

本年度の教員採用試験では特別支援学校高等音楽科に合格することができました。二つ目は、人とのつながりを大切にすることです。人間は他人なしに一人で生きていくことができないと思うからです。

提言2…生来、猜疑心と正直との葛藤で悩んできました。が、大学受験に失敗し、人間

関係を構築する好機だと確信し、予備校の寮に入ることにしました。人前では努めて正直でいることに徹しました。相手が私を尊重し受け止めてくれることを私自身が確信することが大事だと思つたからです。

助言…夢は一生掛けて築くものであり、急がず諦めることなく育てることが大切。自分で自分自身を知ることの大切さに気付き、自己開示できたことは素晴らしいことである。

## 第4グループ会

(後藤光・石坂奈々)

提言1…人間は生きていく上で、さまざまな場面に遭遇する。起こった出来事がうれし

いとき、人は感謝の気持ちで伝えようとする。その言葉として「ありがとう」がある。感謝の意味を再認識して感謝の気持ちを持つだけでなく言葉として相手に伝えることで多くの人を幸せにしていきたい。

提言2…人間として大切なことはコミュニケーションの能力である。お互いの情報を伝え合い理解し合うための能力である。中でも「心を込めて言葉にして伝える」ことは特に大切である。

助言…教育は全ての原点であり、広い視野を持つてほしい。心と言葉・コミュニケーション能力をあらゆる機会に磨いてほしい。

## 第5グループ会

(甲斐諒太郎・二宮理一)

提言1…これまでの人生で、強く実感したのは高校時代の部活動でした。テニス部に所属して全国大会を目指して

日々練習していました。しかし、最後の夏の大会まで全国はおろか県大会にすら出場できない状況でした。それでもお互いに支え合つて最後に目標を達成することができました。教育実習でも、人は互いに支えあひながら成長していくことができるのだと思ひます。

提言2…人と人との関わりは携帯電話やインターネットで顔の見えないつながりだけでは得られないものがある。顔を合わせ面と向かつてぶつ

かつてこそ人の温かさを感じることや人と協力し信頼しあうことの大切さを感じることができるとは思います。小学生との野外キャンプ活動を通じて人と人とのかわりを大切にしたいと学びました。

助言…人は物事(人間関係)を克服していくことで達成感を得ることができるとは思います。授業や野外活動を通じて子供同士の助け合い、子供と教師の助け合いにおいて子供のレベルをしっかりと踏まえることができる。

## 第6グループ会

(大川畑愛美・川畑友美)

提言1…人間として大切なこととは「人生は自分である」ということです。私は地元短期大学に入学し、その後、教育学部英語専修学科に編入したので、大学生活が5年になりましたが、その分多くの事を学び経験することができました。4月から中学校の英語教師として教壇に立ちます。

多くの挫折を経験する中で、家族や友人、多くの人の支えによって乗り越えることができました。今の自分の環境を当たり前と思わずに、多くの

人々や環境に感謝して毎日過ごしてほしいと思います。

提言2…大学の講義で「あなたは何人ですか?」という内容が取り上げられたことがあった。私は「日本で生まれ日本の国籍を有しているのだから日本人だ」と考えていたが、顔立ちや国籍だけで判断することに違和感を覚えた。その後、先生の言われた「地球人」という言葉がとても印象深く残った。今後、「何人?」で区別するのではなく地球人だという価値観を基に、子供たちの個性を育める機会を提供していきたいと思う。

助言…編入学というのは自らの殻を破るチャンスであり、また、挫折の経験から短所や長所が見え、前向きな生き方を物にしたのではないかと。

私たちは「往々にして何人」と区別しがちである。しかし、理念としては理解できるが、グローバルな視点を持つことも大事ではないか。

## 第7グループ会

(木下勇貴・八谷直樹)

提言1…今、ティーチングアシスタントとして小学校に派遣されている。その学校には児童養護施設から通ってくる児童も多数在籍している。施設の児童の傾向として、教師に甘えたり、反抗したりすることがある。しかし重要な事は、誰が施設の児童であるかを見分けることではなく、そういった児童に対して教師はどういった関わりをするべきかである。

助言…ティーチングアシスタントの経験は人生で大いに役立つと思う。全身全霊で取り組んでほしい。同時に、今後養護学校教諭の資格を持つて

対応することができればもつとよいのではないかと。

第8グループ会

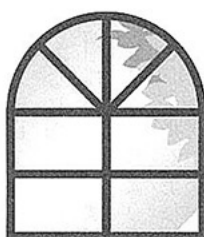
(堀之内真理・今平美沙)

提言1…絆という言葉は東日本大震災以来、各種メディアで頻りに取り上げられるようになった。それは、震災以後、多くの人が絆というものを強く意識するようになったからではないかと思う。被災した視覚障害のある夫婦に必要な情報を朗読するテープを配布する特集番組を見た。視覚障害者とボランティアとの間に新たな絆が築かれていった。

人は、社会の中で一人では生きていけない。絆を築き直したり、新しい絆を作ったりして生きていかなければならない。

提言2…コミュニケーション能力や思いやりは、その経験の場となるのが学校・家庭・地域であり、さらに言えばその経験をサポートしていくのが「教育」である。地域活動では、異年齢間の交流や伝統的な行事の準備など、そこでしか得ることのできない経験に多く触れることができる。

助言…東日本大震災後、日本では絆や出会いを大切にすることを考えるべきであり、感性の豊かさは知的であることを超える。



# 同窓会への企画参加活動を促す

## 「三学年」学年代表者会の開催

総務部長 福島 嘉久

私たち教育学部同窓会が求める姿は、会員一人一人が率先して参加・活動し、共に生きがいを享受できる開かれた組織体にある。援助、互助活動も一部には含まれるが、直接的には、会員が活動や集いそのものに損得勘定なしで楽しみ、喜びを味わうものでなくてはならない。そのための財政の確保や会員の自主的・主体的な奉仕活動も自らで背負っていく覚悟が必要である。幸い、学部や学部卒の先輩諸氏のご尽力により、同窓会の基盤は徐々に固まりつつあり、本会報の中でも見られるように各活動は軌道に乗ってきた。更なる発展を期して、新たな活動として、「三学年」学年代表者会の開催を意図した。

以下で、この会の趣旨・実施等の要項を提示するので、皆さまのご理解とご協力・お力添えの程をお願いしたい。

【趣旨】  
ア、定年退職をして間もない「三学年」の同窓会会員が、会員の相互理解を深め、率直に会への拡大活動に力を出し合う。この会の参加者は、各学年代表者5名で構成し、1年ごとの順送り毎年実施するようにする。イ、本同窓会企画や活動の推進、情報提供などに積極的な参画をする。ウ、各学年同窓会に立ち戻って、学年会の充実と会員数の拡大、財源の確保への理解を求め、同窓会の主催する諸活動には、協力を惜しまず主体的に参画する。

【実施要項】  
ア、第1回「三学年」学年代表者会は、昭和46、47、48年卒、役員代表、総務部長が参加して、本年度中に実施する。第2回は、昭和47、48、49年卒が引き継ぐことになる。イ、時間は約2時間を予定している。ウ、内容としては、趣旨の説明、協力依頼、情報提供、研究協議を考えており、後者に重点をおく。

【到達目標】  
ア、各学年代表5名を決めていただく活動を通して、各学年の同窓会の連携を深めることができる。イ、総会・懇親会の企画・実施に向けて、主体的に参加することにより喜びを享受できる。ウ、3学年の連携活動により、幅広い人間関係の構築ができる。

【趣旨】  
ア、定年退職をして間もない「三学年」の同窓会会員が、会員の相互理解を深め、率直に会への拡大活動に力を出し合う。この会の参加者は、各学年代表者5名で構成し、1年ごとの順送り毎年実施するようにする。イ、本同窓会企画や活動の推進、情報提供などに積極的な参画をする。ウ、各学年同窓会に立ち戻って、学年会の充実と会員数の拡大、財源の確保への理解を求め、同窓会の主催する諸活動には、協力を惜しまず主体的に参画する。

# 第15回鹿児島大学教育学部同窓会懇親会の世話係として 昭和46年卒 世話係代表 中藺政彦



2月1日、教育学部同窓会室で池之迫会長、福島総務部長、松永副会長から、新しく始まる鹿児島大学教育学部同窓会懇親会の世話係代表の依頼を受けた。そこで、師範・教育学部合同同窓会の46年卒役員であった川口、鳴戸、西元の3氏に協力を依頼し、5月はじめに鳴池公民館にて会長から改めて新しい同窓会への協力依頼があった。

6月23日に、鳴池公民館に46年卒小学校10名、中学校5名に集まってもらい、経緯と仕事分担等を説明した。すると、皆でやろうとの力強い返事であった。

それからは、いろいろな疑問点は旧役員に相談しながら準備を行った。一方、事務局の野間さんには会長等との仲介をしていただき、参加者名簿のデータをお願いした。これを基に受付や懇親会名簿、テーブル席、名札の制作等がスムーズに進んだ。

8月4日(本番前日)に世話係全員が集まり、受付名簿・名札の確認や受付のりハースルを行った。お陰で本番では

混乱もなく受付ができた。100名参加の懇親会では、進行の下、あいさつ、「北辰斜め」と順調に進んだと思う。

振り返ると46年卒の世話係の積極的な協力とそれぞれの担当が自覚して動いたからこそ無事に終えることができたと思う。皆に感謝！  
受付と懇親会の運営についての課題として2点。  
・1 概算で運営費を事前に通信費・印刷等役立つ  
・2 理事会に世話係1名の参加：同窓会の全体像の把握  
※同窓会総会の案内・次年度係等は理事会に任せたい。

全ての会の運営についても言えることであるが、ビジョンを明確にして賛同者を増やし、会の充実を図るといふことは、言うは易く、行うは難しい。上位下達の会の運営と異なり、共同参画の会の運営は、特に皆さんの創意を力にして実現せねばならず困難を伴う。総務部長一同、知恵を絞るけど容易ではない。皆さんの知恵を総動員したいの思いが、この会の開催に強く働いている。それと同時に、もつともつと、主体的に参加できる活動の場の創出を実現していかなければならないと考えている。「三学年」学年代表者会が、参加者の充実感につながり、共に喜び合える活動の場づくりを貢献できたらと期待している。成果の様子については、実施後に検討を加え、機会を見て、内容の濃い報告ができればと考えている。



来年度の同窓会を運営するための下見という不純な

同期生の絆を大切に  
後藤千和子



24年間続いた「師範・教育学部同窓会」の

同窓会を楽しむ  
昭和45年 数学科卒  
平澤 光徳



これまで長い歴史を歩んできた「師範・教育学部同窓会」が「教育学部同窓会」に統合され、会員相互の親睦はもとより、母校の発展と教育の振興に寄与するという高い目的を掲げて新たな同窓会活動が始まった。この8月の総会ならびに懇親会に出席した。

集い語り合う場となる  
同窓会が楽しみ  
上園 征彦

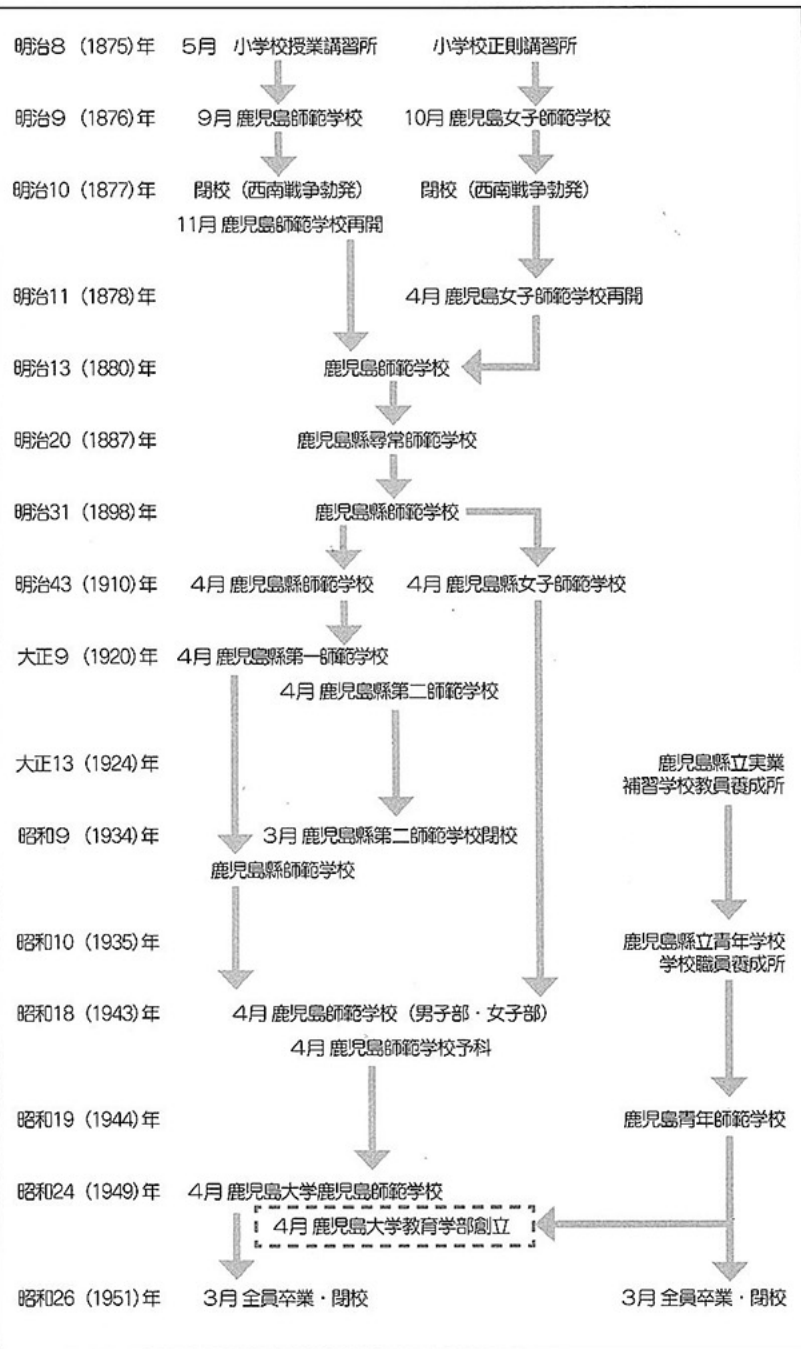
目的で、その上、都合により総会は失礼し、懇親会だけ参加させていただきました。そこには、大学時代からの先輩方や、教職に就いてから各地方で指導いただいた先生方、直接の上司だった方々など本県の教育界を長年牽引して来られた大勢の方々のお姿があり、改めて教育学部同窓会であることを実感することでした。

ところで私は、小・中・高校の同窓会にもできるだけ参加するようにしています。それらの会ではさまざまな職種との友と語り合うことにより、知らなかつた世界を垣間見て視野を広げる楽しみがあります。いずれの同窓会にも快くお世話をしてくれている友の存在があり、感謝しています。

一方、現職時代の教育学部の同期会では学校運営・経営上の、他の場では語れないことも含めて、飲食を共にしながらざつとばらんに語り合う中で、お互いに課題解決のヒントを得ていたのではないかと思います。さらに、退職後の職に就いている現在までずっと変わらず、多くの同期生と、言わば持ちつ持たれつ関係が続いているようにも思っています。

### 鹿児島大学教育学部沿革

明治8年に始まる鹿児島県の教員養成の濫觴(始まり)である  
小学校授業講習所・小学正則講習所からの、紆余曲折の長い歴史



## 国際交流活動

### 経費支援の歩み

同窓会幹事 竹之内 則好

現在教育学部同窓会が行っている支援事業は、教育学部の国際交流活動を主に経費面で支援する国際交流活動支援事業と、教育文化に関する知的集団である同窓会が、地域文化の発展に寄与するための活動を行う人材活用事業に分けられる。

このうち国際交流関係での教育学部の取り組みは、従来、学部独自で締結している海外の協定校か、あるいは鹿児島大学が締結している協定校を利用して交流活動を行い、教育・研究成果を上げてきた。

しかし、これら海外大学との実効ある交流活動を進めるためには、交流体制の強化および潤沢な交流経費が必要であるが、現在そのための国の

予算措置が常に不足している状態となっている。

これら教育学部の国際交流活動を通じて、教育面および研究面での成果を得ることができるよう経費の面で支援することを目的に設置されたのが「教育学部同窓会国際交流基金」である。

基金は平成20年の同窓会総会で採択され、「鹿児島大学教育学部同窓会が行う鹿児島大学教育学部国際交流活動に関する申し合わせ」(平成20年8月9日総会決定)に沿い、現在まで教育学部が行う学生の海外派遣・受入、および海外各大学からの訪問者受入ならびに各国からの研修生受入等教育学部が行う国際交流活動に対し、幅広く経費の支援

を行ってきた。

交流基金の支出実績は、毎年50万円の予算計上を行い、平成20年は12万円が、平成21年度は37万円、平成22年度は14万円、平成23年度は45万円、平成24年度は24万5千円が支出されており、十分とは言えないまでも設置目的は果たしてきているのではないかと思われる。

今後の課題としては、学生の海外派遣・受入にしても、その他の国際交流活動についても基金の支援対象が特化しつつある傾向があるので、国際交流基金の設置目的を念頭に、同窓会会員である教育学部学生全員が対象となるような経費支援の方策を検討する必要があるのではないかと思

### 【支援内容】

- 平成20年 JICA集団研修に伴う諸経費
- 平成21年
  - 西ジョージア大学への留学生派遣補助
  - ベルリン工科大学来訪者経費補助
  - 駐日フィンランド大使来学経費補助
  - 西ジョージア大学研修者受入に対する補助
  - JICA集団研修に伴う諸経費
  - 江陵原大学からの研修団受入経費補助
- 平成22年
  - JICA集団研修に伴う諸経費
  - 西ジョージア大学研修者受入に対する補助
- 平成23年
  - ドイツ ボン大学
  - 台湾 国立台北教育大学
  - 国立台北教育大学との学術交流協定打合せ
  - JICA集団研修に伴う諸経費
  - 西ジョージア大学研修者受入に対する補助

## 第11回全国藩校サミット 鹿児島大会

郷中の教育

「第11回全国藩校サミット鹿児島大会」が平成25年3月9日・10日、鹿児島市の城山観光ホテルにおいて開催される。旧藩校の伝統と精神を受け継ぎ、21世紀を切り開いていくための人材育成を目的に、全国から藩校教育・人材教育に関わる人々が集う全国大会である。

鹿児島では、代表的な「造士館」があり、藩校の持つ優れた教育理念と精神文化を改めて評価し、現代に生かすべく全国で開催されてきた。

ちなみに、平成25年は藩校造士館が島津重豪(しげひで)公によって安永2年(1773年)に創設されてから240年という記念すべき年に当たる。藩校造士館は、第七高等学校造士館に、さらに鹿児島大学に継承されている。

### 平成24年度事業計画

- 4月 新入生学部企画オリエンテーション
- 6月 会計監査
- 6月 同窓会役員会
- 7月 同窓会理事会
- 8月 同窓会総会・懇親会
- 11月 第11回鹿児島大学の教育を語る会
- 12月 平成25年度新入生への同窓会案内(推薦I)
- 12月 平成24年度入学生会費未納者への納入依頼
- 12月 同窓会会報第14号発行
- 2月 平成25年度新入生への同窓会案内(推薦II)
- 3月 平成25年度新入生への同窓会案内(前・後期合格者)
- 3月 昭和51年度卒業生への会費納入依頼

### 編集後記

目まぐるしく変わる世相にただ驚愕の感である。例年からの変化と言え、北九州豪雨・水害では、数年に1回出るか出ないかの記録的短時間大雨警報が7回も出され、大災害をもたらした。1時間の雨量が100ミリ以上。130カ所の土砂崩れ。バックビルディング現象とのこと。県内では奄美群島・肝属地区の水害も同様に痛ましかった。

一方、喜びの情報もある。ロンドンオリンピックでの体操・内村航平が28年ぶり個人総力で金メダル受賞。水泳、柔道、サッカー、バレーボール：等。中でも女子レスリングの吉田佐保里の世界13大会連勝で国民栄誉賞にはただ感服するばかりである。鹿児島女子選手の福元、迫田、新鍋選手の活躍も目覚ましいものがあった。志布志高校の山口選手の次世代オリンピックへの期待も頼もしい。

ところで、今回は「同窓会にかける夢・姿」に今林俊一教授と4年生の町田康佑君の提言。宮原恵津子さんの基調講演。また、「鹿児島県の教育を語る会」のグループ記録を収録した。「会報」の編集で、今回「教育学部同窓会の展望・企画・運営等」について多くの紙面を割いた。いろいろのご意見を聞かせてほしい。

### 鹿児島大学 公開授業案内

鹿児島大学の実施する公開授業とは、学生・院生が受講する正規の授業の一部を、一般市民の方々に開放するものです。市民の方々が授業に参加されることによって、学生

### 会費納入について

会費納入については、学生の場合は入学時に、すでに納入しているが、教育学部既卒者の場合は随時納入することになっている。同窓会は平成10年に設立され、会費は終身会費として1万円となっている。会の運営は会費によってなされ、会員の親睦や母校の発展と教育の振興を図ることを目的としている。特に、既卒者で未納になっている会員にはぜひ協力をお願いしたい。事務局としても卒業年度を決めて計画的にお願いをしているが、卒業年度(学年部会)や教科部会等を納入の方法については、学年代表あるいは事務局に直接連絡してほしい。

(榎添)